

北原白秋記念館男声合唱演奏会

柳河風俗詩

多田武彦作曲 柳川で「柳河風俗詩」を歌う
PROJECT

大阪外国語大学グリークラブOB
日本男声合唱協会会員

河原 敬

福岡県柳川市の北原白秋生家・記念館において、北原白秋作詩・多田武彦作曲、合唱組曲「柳河風俗詩」を指揮することになりました。完全自主企画です。

3Mから3Kへ変身 男声合唱

男声合唱というと、「3M」つまり①マイナー、②マニアック、③むさ苦しい？ というのが一般のイメージかもしれません。しかし最近ではそれが「3K」①軽快、②コミカル、③カッコいい、というのが定説になっております。

ここからは、真面目なご案内です。「柳河風俗詩」は昭和29年(1954)に誕生しました。ゴジラも警察予備隊(自衛隊)も僕もたまたま同年に生まれております。この曲は作曲家多田武彦の処女作と言われております。外語グリーOBの清水脩おさむとも縁の深いこの曲を聖地・柳河白秋記念館で演奏するのが長年の夢でした。

九州福岡県柳河(現柳川と表記)は異国情緒あふれた水郷です。柳川市沖端に生まれた詩聖「北原白秋」をリスペクトして彼の生家・記念館ロビーで演奏します。僕の信頼する男声合唱仲間たちが滋賀・兵庫・福岡から12名集まってくれました。皆さん指揮者・ソリスト・パートリーダー等、経験豊富な方ばかりです。

メンバーにお願いした参加条件は暗譜で歌うことです。表情や口元がはっきり聴衆に見えるし、歌う方としても指揮者しか見えるものはなくなるし、楽譜という邪魔者から解放されて、お客様と同じ空間の響きを直接的に肌で感じる事ができるからです。

北原白秋に縁の深い様々なものと一緒に彼の生まれた家の中で、「タダタケ」の曲を通じて白秋の世界を再現できる。その場に偶然いらっしゃる方や遥々楽しみにして来てくださった方、記念館関係者の皆様と同じ時空を共に過ごす。もし機会がありましたらどうぞお聞きいただきたいと思っております。

日時：2023年4月16日(日) 14時

場所：北原白秋記念館ロビー

問い合わせ：kawaharatakashi1214@gmail.com

記念館入館料600円のみでお聴きいただけます。

河原 敬 kawahara takashi 自己紹介

河原才能教育研究所Kawahara Gifted Labo(奈良市学園前 080-3843-0298)主宰。



大阪外国語大学(現大阪大学)英語科卒。桃山学院大学大学院・日本語日本文化専攻修了 文学修士。元四天王寺中高・大阪桐蔭中高英語科教諭、フランス・トゥレーヌ甲南学園英語科教諭、元ハワイ国際合唱祭理事、元桃山学院大学文学部非常勤講師、元大阪外国語大学グリークラブOB合唱団指揮者を歴任。日本男声合唱協会会員。ウクライナ支援第九団長。

大学でグリークラブに入りました。学生指揮者になったが、3拍子も4拍子も振れず、合唱団員と相撲の立ち合いみたいに息が合いませんでした。史上最低の指揮者と言われて悔しかった。歌う方もD4(レ)までしか出なかったのでD#があるソロができなかった。悲しかった。現在ではA4(ラ)が出るようになりました。

甲子園でのアルプススタンドで吹奏楽部を指揮し野球部応援を経験しました。佐渡裕指揮で12月に12回第九を歌って関西を旅しました。ハワイ国際合唱祭に2000年から8回参加しています。フランスの日本人学校の合唱部を指導して現地の老人施設を訪問したことがあります。

ビオラ奏者の次女が編成したオーケストラ伴奏で家族全員がオンステしてモーツァルトのレクイエムを歌いました。ドイツ・オーストリアの合唱団と交歓演奏会をし、シューベルトのミサ曲を演奏しました。家内を含めて6人の女声とザルツブルクの教会教会でフォーレのレクイエムを歌いました。モーツァルトの生家も訪問しました。

現在は地元で児童合唱団を作りたいと考えています。また、外国の合唱団とも交流したいと考えています。